

コミュニケーションを大切に 各医師が力を発揮できる環境を創造する

社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス(JMA)は、1973年の設立以来40余年にわたり、
埼玉・神奈川エリアで急性期を中心に地域に密着した医療を提供してきた。
現在は専門性の高い医療から在宅医療まで幅広い領域で地域のニーズに据えている。
同グループで働く医師に、その環境について聞いた。

社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス Japan Medical Alliance

臨床における豊富な症例のもと
より高い専門性を積極的に追求

JMAグループを構成する施設のひとつである海老名総合病院。その泌尿器科で働く小池響子氏は産業医科大学出身で、初期研修及び後期研修から同院に在籍している。

「もし産業医という道を選ばずとしたら、臨床経験の機会は研修のときに限られることとなります。そこで若手でも経験が積めるという視点から、規模がちょうどよく、そして院内に活気が感じられた当院を選択しました。実際に研修医として入職してみると、非常にコミュニケーションが取りやすい環境で、みんなが一丸となって地域医療に取り組んでいることがわかりました。手技的な経験も重ねる中で、地域の患者さんと密接に関われる臨床の面白さを実感。そのまま当院に入職し、現在に至っています」

小池氏は泌尿器科の専門医・指導医であるが、今後はさらに腹腔鏡手術の認定医も目指していきたいと語る。

「当院は症例数も多く、高い専門性を持った医師も在籍しています。診療科間の垣根も低く、それぞれの分野の情報交換もスムーズに行えますので、学べることは積極的に吸収していきたいですね。また、現実的に女性医師として女性領域の手術を求められる場面もありますので、『ウロギネコロジー』に関し、さらに専門性を追求していきたいと考えています」

解を得ながら、働き方を考えていきたいと思えますし、それを受け止めてくれる環境がここにはあると感じています」

**個別に丁寧に対応し
オーダーメイドの働き方を**

JMAグループでは、設立以来「救命こそが医療の原点」というモットーのもと、急性期を中心に地域医療に貢献してきた。海老名総合病院でも本年、救急救命センターを開設。そこで重要になるのが、医師が無理なく存分に力を発揮できる環境だと捉え、保育所の設置やオンとオフにメリハリを付けられる勤務体制の構築等、良好なワークライフバランスの追求を推進している。

海老名総合病院の院長・服部智任氏は小池氏の入職当時の上司であり、院長就任以降も、医師の働く環境の整備に心を砕いてきた。

「重要なのは、制度やシステムに命を吹き込むため、各病院や各診療科、そして



海老名総合病院 院長
服部 智任氏

- 1985年/国立滋賀医科大学医学部 卒業
日本医科大学付属病院
 - 1994年/日本医科大学付属病院及び関連病院
 - 2000年/仁愛会(現:ジャパンメディカルアライアンス)入職
 - 2008年/海老名メディカルプラザ 院長
 - 2012年/海老名総合病院 副院長
 - 2015年/海老名総合病院 院長
- 医学博士
日本泌尿器科学会専門医・指導医

何より各医師の状況等、現場に即して運用していくことでしよう。小池医師の働き方は、そのひとつの例となるものですが、子育ては男性医師の問題でもありません、今後は親の介護の問題なども出てくるでしょう。それぞれ異なる環境に合わせ、いわば医師個々に合わせた『オーダーメイド』の働き方を考えていかなければなりません。そのため、常日頃から各医師としっかりとコミュニケーションを取ることを心掛けています」

医師の希望があれば、ライフステージに合わせて、グループ内の病院での転勤も可能だとのこと。

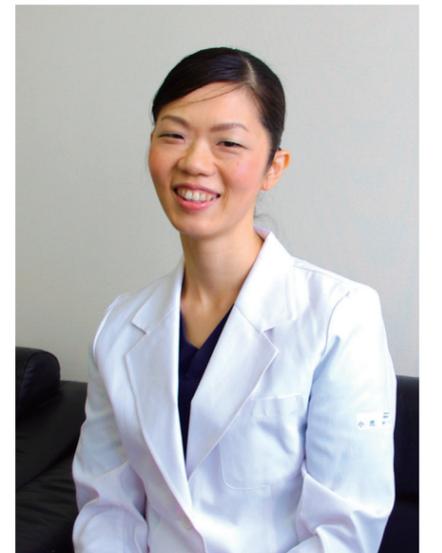
「グループ内には神奈川、埼玉、そして静岡県下田に病院がありますので、地域の選択ができます。また急性期の他、回復期や慢性期、在宅医療の分野もありますので、それぞれの事情に合わせて、働き方を変えることも可能です。当グループには、自分に合った働き方を発見し、持っている力を十二分に発揮できる場があると思います」

周囲の理解と協力を得ながら 柔軟な働き方を実現

地域に求められる医療の最前線で働く小池氏は、一昨年に出産を経験。現在は子育ての真っ最中でもある。

「グループ病院として、規模としっかりとした基盤があり、制度が整っていたことには安心していました。とはいえ、実際の現場では一人の医師が産休に入るというのは大きな影響があります。その後の子育てに関しても、どの程度周りに負担をかけることになるのかなど気になっていました。そんなときに上司から『働き方を考えるので、出産後も復帰してほしい』と言われました。上司に相談する中で、そのような声をかけてもらったことは、とても気持ちが楽になり、大変ありがたかったですね。自分自身の率直な考えも含め、じっくりと話し合うことができました」

現在、小池氏は院内保育所を利用し、時短勤務とするなど柔軟な勤務態勢で



海老名総合病院
小池 響子氏
○2005年/産業医科大学医学部 卒業
海老名総合病院
日本泌尿器科学会専門医・指導医

日々の診療に取り組んでいる。

「診療科内の同僚医師、上司、さらには看護師等スタッフの理解と協力に、非常に助けられています。一つひとつの業務、一人ひとりの患者さんごとに情報を共有し、術後の管理、採血結果のチェック等、フォローして貰える部分はフォローしていただき、自分自身が果たさなければならぬ役割に関しては、責任を持って果たしていくことを心掛けています」

今後、子どもの成長に伴い、さらに働き方も変化していくだろうという小池氏。「今は保育所に預けていますが、小学生になったらどうなるのか、学校から帰ってきたときに母親が不在だと寂しい思いをさせるのではないかと考えたりもしています。できるだけ、子どもとの時間を取れる働き方をしたいのですが、一方、医師として働く母親の姿を、子どもの心に残したいという思いもあります。そのためにも今後も医師として働き続けられるよう、同僚医師やスタッフ、そして家族の理

JAPAN MEDICAL ALLIANCE 社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスは、主に急性期を担う東埼玉総合病院、高度急性期・急性期に対応する海老名総合病院、急性期・回復期・慢性期に対応する座間総合病院、さらにJMAグループとして急性期・回復期医療で地域に貢献している医療法人社団静岡メディカルアライアンス 下田メディカルセンターの4病院を中心に、介護・福祉施設を運営。地域でシームレスな医療サービスを提供している。



東埼玉総合病院
〒340-0153
埼玉県幸手市吉野 517-5
<http://saitama.jinai.jp/>



海老名総合病院
〒243-0433
神奈川県海老名市河原口 1320
<http://ebina.jinai.jp/>



座間総合病院
〒252-0011
神奈川県座間市相武台 1-50-1
<https://zama.jinai.jp/>



下田メディカルセンター
〒415-0026
静岡県下田市 6-4-10
<http://shimoda.s-m-a.or.jp/>

■JMAグループ 施設一覧■

【病院】	●東埼玉総合病院 ●海老名総合病院 ●座間総合病院 ●下田メディカルセンター
【診療所】	●東埼玉総合病院附属 清地クリニック ●海老名メディカルプラザ ●海老名メディカルサポートクリニック ●今里クリニック ●しらはまクリニック ●下田メディカルセンター附属 みなとクリニック
【介護老人保険施設】	●アゼリア ●コスモス ●なぎさ園
【特別養護老人ホーム】	●はなみずき ●さつき ●シェ・モア ●和心(なごみ) ●陽だまり
【認可保育所】	●すこやかハウス
【在宅介護事業】	●JMA東埼玉訪問看護ステーション ●ケアネット東埼玉ころ／あゆみ ●ヘルパーネット東埼玉 ●ケアレンタル東埼玉 ●デイサービス東埼玉 ●清地クリニック 通所リハビリセンター ●ケアネット海老名第I／第II ●JMA海老名訪問看護ステーション ●ヘルパーネット海老名 ●海老名東地域包括支援センター／海老名中央地域包括支援センター ●ケアレンタル海老名 ●ケアネット座間 ●今里リハビリステーション ●今里ヘルパーステーション ●ケアネット磯子
【サービス付き高齢者向け住宅】	●カサポニータ海老名

◎問い合わせ/担当まで直接お気軽にご連絡ください。
〒243-0433 神奈川県海老名市河原口 1519

E-mail ▶ jinzai@jin-ai.or.jp

HP ▶ <http://www.jinai.jp/>

TEL ▶ 046-235-1328 【担当/JMA法人本部 中田】